



2026年5月11日

(前年同月比: %)			2025年						2026年						通期	
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	上期	1月	2月	3月	4月	5月		6月
ト ラ イ ア ル	既 存 店	売上高	101.4	98.3	99.8	101.7	105.5	99.8	101.0	105.6	102.1	100.3	102.8		102.6	101.7
		客数	97.5	94.6	95.6	97.8	100.0	97.6	97.1	100.1	99.6	98.7	98.4		99.2	97.9
		客単価	104.1	103.9	104.5	104.1	105.5	102.3	104.0	105.5	102.5	101.6	104.6		103.5	103.8
	全 店	売上高	111.9	108.1	109.1	110.1	113.7	107.7	110.0	113.4	109.3	107.1	110.0		109.8	109.9
		新規出店数	5	1	1	1	5	5	18	0	4	2	3		9	27
		閉店店舗数	0	0	1	0	1	1	3	0	0	1	3		4	7
		全店舗数	357	358	358	359	363	367	367	367	371	372	372		372	372
西 友	全 店	新規出店数	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0		0	1
		閉店店舗数	0	0	1	0	1	0	2	0	1	0	0		1	3
		業態転換数 (西友⇒トライアル西友)	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1		2	3
		全店舗数	245	245	244	244	244	244	244	244	243	243	243		243	243

(環境) 当月は、西日本の太平洋側を中心に降水量が多く、日照時間の少ない日が続きました。また、前年同月と比較して、休日数の増減はありませんでした。
 4月度より2026年6月期第4四半期に入りました。既存店売上高成長率は、期初から当月までの10ヵ月間で101.7%となり、通期計画100.6%に対して好調に推移しています。
 (商品) グロサリーでは、ビール類の売上高が前年を大きく上回りました。前年4月に、値上げ前の3月に発生した駆け込み需要の反動減があったことが、売上伸長の一因となりました。
 デイリーは、玉子や惣菜パンに加えて、新作PB商品の菓子パン「ザクッ!ふわっ!さくっ!クロッカ」が多くのお客さまから支持を獲得しました。
 青果は、キウイフルーツやアボカドに加えて、カットスイカや柑橘類が堅調に推移しました。一方、キャベツやアスパラガスなどは、相場価格の下落などにより軟調でした。
 鮮魚は、鮭の切り身やPB商品の「シュリンプカクテル」、精肉は、豚肉のこま切れやうす切り、若鶏のむね肉やもも肉、牛肉の切り落としが伸長しました。
 惣菜は、名物商品「ロースかつ重」などの丼物や「特製のり弁当」に加え、「テーブルロール」「プチクロワッサン」などの店内調理の焼き立てパン(ペリカ)が売上高をけん引しました。
 非食品は、ラップやホイル、キッチン用ポリ袋などの台所周りの日用消耗品や、立体シール、釣具が寄与しました。また、アパレルPB商品のTシャツやカジュアルシャツが好調でした。
 (店舗) ・新規出店: 3店 メガセンター: 浜北店(静岡県) スーパーセンター: 姫路四郷店(兵庫県)、深谷川本店(埼玉県)
 ・閉店: 3店 smart: 東金求名店(千葉県)、江戸川台店(千葉県)、北越谷店(埼玉県) ・業態転換: 1店 トライアル西友: 二俣川店(神奈川県) ・改装リニューアルオープン: 2店

※ 売上高の前年同月比はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値と異なる可能性があります。
 ※ 概況コメント欄の天候は、トライアルの店舗が多く所在する福岡県を中心に記載しております。
 ※ 「グロサリー」は菓子類などの加工食品、「デイリー」は卵や乳製品などの日配品、「フレッシュ」は生鮮四品(青果・精肉・鮮魚・惣菜)、「生活」は日用消耗品などの家庭用品、「ハード」は家電製品などの耐久性商品、「アパレル」は衣料品を示しております。
 ※ 西友の既存店及び全店売上高の前年同月比は、2026年7月度(2027年6月期)から開示予定です。